

夜間学校 ニュース

1988年3月17日

西成区萩之茶屋2-8-9
旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

みんなの 会館

みんなで つくろう

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

三人よれば 何とかの 知恵

『売名』と 世に伝え

知らせることの 関係は

先週の夜間学校ニュースに、朝日新聞の「ひとし」欄にのつた稲垣さんの記事を転載した。そのとき、色々な声があるだろうけど、と書いておいた。

さて、そのニュースを読んだ仲間のこえ、

「炊き出しのうたしいくのは、どこで募集してるねん?」

これはもう、完全なカン違い。「炊き出しのうたしい」というのは、稲垣さんの出した本の名前。別になんか募集してるわけではない。もう一つのこえ、

「なんで夜間学校が売名に協力するんや、あんなのせんでもええせううが」

マア、色んな考えがある。稲垣さんの本を、センター

で売っていったが、百三十人以上の人が買ったようだ。中身のことは、ひとまず置いておいて、自分の書いた本、それも釜のことを書いた本を、釜の仲間の前に批評できる可能性をつくることにもなる形で提示する姿勢は、評価できるのではな

いか。あながち、「売名」とばかりはいいきりまい。問題は、釜のなについて、このようなかたまで、多くの人に伝えてい

て、それを検討するに

は、それぞれがどのよう

に伝えることが良いかを

考える必要がある。

仲間の死

本籍・住所不詳、氏名自稱神崎某、50歳位の男性、身長161センチ、ヤセ型、腹部にえ箇所手術痕あり、遺留金品現金2430円、腕時計

右の者は、昭和62年8月5日午後5時20分頃、西成区萩之茶屋1-7-15先路上において発見されたもので、同日午後4時30分(推定)、同所において結核性心外膜炎のため死亡したものと思われる。

身柄引取人不明につき、検視解剖のうえ北斎場にて火葬に付した。

前回の報告

久しぶりの

大雑談

放談大会

このまま、どうやら順調に春になっていくようですが、時折は冷え込むこともあるとか、それにしても今年は冬らしい冷え込みが少なく、やはり暖冬傾向は続いていると言えそうです。それはともあれ、求人はいかわらずですが、単価のバラツキはそこそこ見られるという話もチラホラ、前回もそこから話が始まりました。

「この前、市更相近くで手配に来た人夫出しから仕事に行ったんやけど、親方が八千円や言うんやな。ワシは一万五百円でないと仕事はせん」と言うた。そんなり一万五百円出してくれた。それでな、帰りに他の人は何も言わんと八千円もろてるんや」

「誰も文句を言わんのか」

「話を聞いてみたら、夏の仕事がない時に何も言わんと印紙を貼ってくれるからや言うてた」

「いくら印紙を貼ってくれると言うても一日に二千五百円も差が出るのは、どうかな」

「そう言えばこの前仕事に行つてところでは、老人ホームから出てきたばかりという感じの七十才をこえた人が大工の手元をしてたけどな、なんぼもろてるんや、ときいたら恥かしいから言われへんと言うてたけど、たぶん七、

八千円ぐらいやろな」

「まあ、釜ヶ崎も山谷なみの単価のバラツキが出てきてるわけか」

「西淀川の飯場でな、仕事が見ついで運ぶ荷物を減らしてくれというたら単価が七、八千円になった。二五〇三〇Kgぐらいのんを半分ぐらいになってたけどな、そこにずっとおる人は軽い仕事やってるんやけど、単価は七千円で飯代千五百円らしいで、年中仕事はある」

「ただ現金だけ単価が上がって、飯場が上がるへんのやら、みんな飯場から出てくるのと違うか」

「人によって考えも違うしな、それにしてもバラツキはあるな」

「それはそうと、ここはギャンブルの話ばかりやな、朝起きても口に出るのは昨日の最終はどうやったやからな、まあ、センターで新聞を見ててもほと

んど色付きのスポーツ新聞ばかりやし、三・六や、いや五・四とかそんなことばかりに、頭がいつてるわけや、ちょっとは他の政治とかにも目を向けてもええのんとちゃうか。一人前の男やねんから」

「新聞と言え、やっぱり読売が一番面白いな。朝日が何んで狙われるんかようわからんわ、左や右やと言われてもワシらにはわからんけど」

「天皇が死んで大赦で在日韓国・朝鮮人の指紋押捺事件がみんな免訴というか、裁判がなしになるというのがあったけど、ちょっと前に被告が裁判で反天皇帝ということになってノーガキをだいぶ言うてドロンしたことがあった。この免訴というのは判決を本人がおらんと言い渡しができんらしい」

「そうすると裁判はどうなるんや」

「何か、被告が裁判官を忌避したという事で次回は被告に召還状を出して連れてきて判決を下すということになるらしい、これも読売が一番詳しく書いていたな」

「新聞も最近ではコンピュータを導入して作ってるけど、朝日なんかときどき、もう従来の新聞の定石なんかは完全に無視してるな。見出しも二つ重なって通ってる、下の方は全然別の記事になってるんや。時々みるで、それに記事の最後の方が少なくなつて余白が三行

くらいもあつたりすることがある。昔はなんとか職人芸的に下駄をはかせてぴちっと合わせよつたけどな」

「単価とか労働条件のことは春闘で、いろいろビラも出てるけど、4月からやる消費税のことは全然のってないでこれはどういうわけや、ちょっとでもワシらにも判るように書いてくれへんかな」

「飲み屋で消費税の話が出てもせいぜい、ピンポイントが損をして金持ちが得をするんやいうくらいや、もう少し突っ込んで欲しいんやけど」

「三〇%いうたら、ドヤ代千円やったら三〇円になるけど、馬や自転車にドンドンつきこむ人らが多いのんやから、あんまり興味は引かんのとちがうか」

「鉄筋屋の知り合いでえらい博学の人がおるけどどうも刑務所で歴史の本を読んだらしい、仕事も早いしようできるで」

「ムシヨでは暇やし、政治関係の本はどうもまずいし、歴史やたらよよし悔悽の情ありで点数も上がるで」

「鉄筋屋なんかさっさと結末する人がおるな、びっくりするわ」

「鉄筋は日本語がきんでも出来る、韓国の人とよう一緒に仕事するけど上手で、ただ日本語が全然や、それでアレもってこい、コレもってこいというのがあかんねん」